

## おためし！プロジェクトWET体験イベントレポート

### 1. はじめに

昨年、私は 5 月にエドゥケーター、12 月にファシリテーターの資格を取得し、ファシリテーター講習会参加後は、早速社内内の若手交流会で WET の紹介と講習会参加報告を行いました。その際、2017 年の予定として、普段私が参加している関西の水関係若手ネットワーク『ウォーター・ループの会』※1 で WET の普及活動を実施することを宣言していました。

そしてこの度、平成 29 年 7 月 23 日（日）京都大学にて有言実行！なお、エドゥケーターとして、私とファシリテーター同期の翻訳家・清水（ニックネーム：鯖さん）氏にもご協力いただき、参加者 13 名と 2 つのアクティビティを実施してきましたので、活動報告させていただきます。

※1 『ウォーター・ループの会』

自らの組織や立場を超えた関西の水関係若手ネットワーク（産官学問わず）

↓このような想いを掲げたコミュニティ

- ・東京ばかりじゃなくて、関西も盛り上げたい！！
- ・10～20 年先の日本の水業界を見据えた 20 代から 30 代の若手の集まり
- ・分野は違っても、『水』という共通のテーマでつながる会
- ・ゆる～く気長に、ときに刺激を受け合いながら、新しいつながりを作る場にしましょう！

【URL】 <http://waterloopkansai.blog.fc2.com/>

（注意：最近更新されていません笑）

### 2. イベント概要

#### 2-1. 企画目的

- ・関西の水関係若手ネットワーク『ウォーター・ループの会』にてプロジェクト WET 普及活動
- ・プロジェクト WET の体験を通して参加者それぞれの専門分野で活かせる要素を感じ取って頂く

#### 2-2. 日程

○日時：7 月 23 日（日）14：00～

○場所：京都大学 東一条館

○タイムテーブル：

時間	講座名	備考
14:00	開会、挨拶	10 分
14:10	アイスブレイク（参加者 1 人 1 分自己紹介） 「アイデアプール」	25 分

14:35	プロジェクトWETの概要紹介	15分 ppt
14:50	アクティビティ① 「驚異の旅」	40分
15:30	アクティビティ② 「みんなのホテル池」	40分 ※プロジェクトワイルドからアレンジ
16:10	プロジェクトWETの活用について	10分
16:20	アンケートの実施、片付け	10分
16:30	終了	

## 2-3. 参加者

エドゥケーター2名（瀬川、鯖さん）+13名（産官学混合）

## 3. 活動報告

### 3-1. 開会、挨拶

京都大学の立派な教室をお借りし、スクリーンにはWETの紹介pptが映っています。

ネームプレートをぶら下げている人物が今回頼もしい助っ人、鯖さんです。

今日のために鯖さんはアクティビティを一工夫も二工夫もしてくださっています。どんな内容になっているのか楽しみです！

ちなみに、私は今回がエドゥケーターデビュー戦なのでそれなりに緊張しています。

そろそろ始まります…！



### 3-2. アイスブレイク

お馴染みのアイスブレイクのお時間。ネームプレートには、もちろん、そう、ニックネーム。

今回は、1人1分の自己紹介の中で、「水」から連想されるご自身にとって最も重要なキーワードを1つ紹介していただくことにしました（開会前に紙に書いてもらう）。これは、アクティビティ「アイデアプール」の要素で、ここで挙げたキーワードを基に後々グルーピングに利用しようかと思えます（私が参加したエドゥケーター講習会でエドゥケーター純子さんが実施された段取りを盗みました笑）。皆さん水への熱い想いを伝えてくださっています！



◆挙がったキーワード

命、安全、遊、飲み水、安心、きれい、生水、ラーメン(!?)、涵養、つながり、循環、治水

改めて、水にはいろんなテーマがあるなど実感。まさかの“ラーメン”が出ましたが、「ラーメンの後の口直しの水ってラーメンの一部というくらいうまい」というエピソードでした。なるほど納得。



3-3. プロジェクトWETの概要紹介

アイスブレイクしたところで、WETとは何ぞやということと私と鯖さんの身分証明をしてみます (ppt 活用させていただきました)。

画像に写っていないところで皆さん興味を持ってフムフム聞いてくださっています。

理屈を理解いただいたところで、百聞は一見にしかず、早速アクティビティを体験していただくと思います。タイムテーブル詰め詰めなのでどんどんいきます! 笑



3-4. アクティビティ①「驚異の旅」

アイスブレイクで皆さんにキーワードを挙げていただいたように、水には、使用用途や形、背景などいろんなテーマがありましたね。

そこで、本日皆さんにはいっそのこと水の気持ちになっていただきたいと思います!

本日一つ目のアクティビティとして、WETの代表的なアクティビティの一つ、「驚異の旅」を体験していただきます。ここには自然界の水が存在するエリア9箇所が用意されているので、2人1組になり、サイコロを振って移動し、どんな旅をしてきたか最後に聞かせてください!

1つお願いしたいのは、皆さん、どうか子どもになってください! お願いします! 笑

それでは、スタート!!



◆移動できるエリア

雲、土、地下水、川、湖、海、氷河、植物、動物

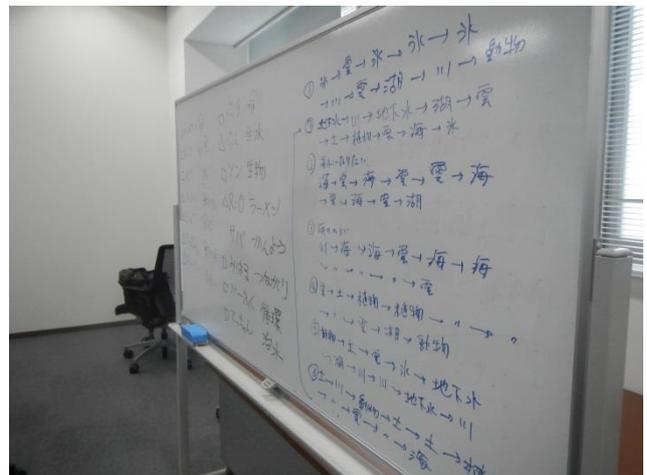
皆さん真剣です。真剣に水分子と化して旅しております。旅の紹介の仕方もペアで考え中です。

最後に各ペアの旅を体現して皆さんで体験を共有します。“氷河”のエリアからなかなか脱せなかったペア、“動物”や“植物”を経由して“海”へ放たれたペア、“雲”と“海”を行ったり来たりしたペアと旅は様々。淡水になりたかったのにな～！という水分子くんの感想も。笑



そう、これは“水循環”を学ぶアクティビティ。でもこんな風に水循環を考えたことってありますか？“雲”と“海”の往復がやけに多くなるのはどういうことでしょうか？また、今回は自然界の水循環を体験していただきましたが、これに人為的要素も加わったらどんなことが起きるのでしょうか？

こういったことを子どもの頃から身近に感じておけば、そういう過程で水はきれいにされるから蛇口をひねれば安全な水が出るのかと、日頃あって当たり前なことへの理解が深まるのではと考えます。



### 3-5. アクティビティ②「みんなのホタル池」

それでは次のアクティビティです。こちらは、プロジェクトワイルドのアクティビティ「みんなのトンボ池」を鯖さんがアレンジしてくださりました。季節的にトンボじゃないし、日本だしということで、「みんなのホタル池」にしてくださっています。これは座ってグループワークです。



まず、4、5人で1グループとなり、“ホタル”、“製紙工場”、“住民”、“農場”、“商業施設”といった水利用者の役を決めます。そして、1つの池が描かれた紙を見ながら、私はこういう理由で上流の立地を希望するとか、いやいや私はこういう理由なので上流は譲れないという意見を各水利用者で出し合ってください。ホタル役も言いたいことは言ってくださいね！

ディスカッションを重ねて、合意形成のとれた池を整備しましょう！



グループ同士でお互いの池整備計画を共有します。他グループから良い点 (Good)、こうしたらもっとよくなる点 (Gift)、池を見て何を感じたか (Feel) をポストイットで出してもらいます。

#### ◆共有した意見

- A グループの池は、ホタルを保護するという共通認識の下しっかり合意形成取れているな～是非住んでみたいな～
  - B グループの池は、幹線道路をそんなところに整備するなんて非現実的だけど発想は面白いな～
  - C グループの池は、ホタルがずうずうしいな～
- 等々



各グループの池の整備には個性があり、いろんな合意形成の形がありましたね。

実はこれ、さらに面白いことがいえるのです。各グループの絵を縦に繋げてみるとどうなりますか？上のグループが下流としていた方向は、その下に絵を繋げたグループにとっての上流となるのです（ここで皆さん、あ～あるほど！と良いリアクションされていました）。つまり、上流の立地なら安心と思いきや、そのさらに上流に汚染源が生じる可能性も。流域は特定の誰かのものではなく、皆のものであることを忘れてはいけません。



### 3-6. プロジェクトWETの活用について

- ・私と鯖さん、それぞれの報告（WETを知ったきっかけ、目をつけたワケ、実践体験談等）。

### 3-7. アンケートの実施

- ・最後に簡単なアンケートを実施。
- ・4段階評価（満足・まあまあ満足・少し不満・不満足）とそれに対する自由意見を回答。

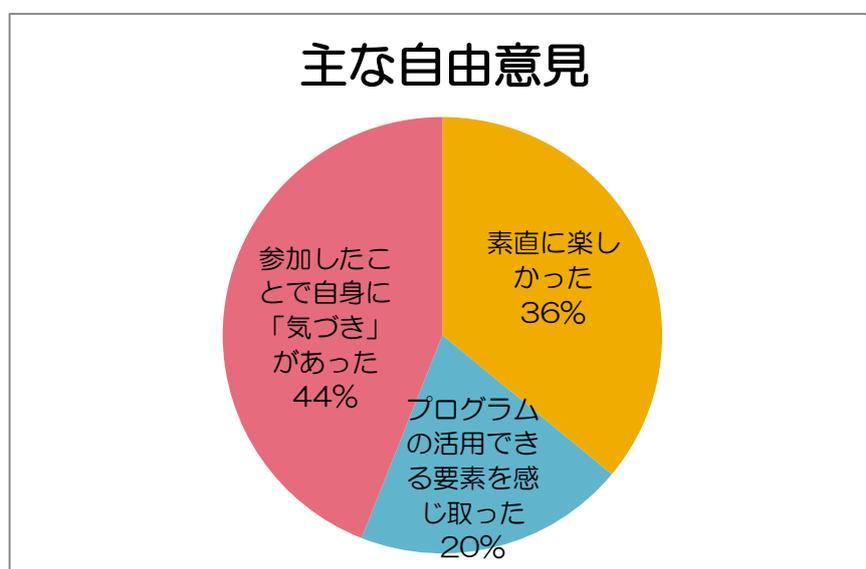
回答数	13件（エドゥケーター2名除く参加者全員）
評価	満足：100%（皆さんお優しい笑）
主な自由意見	<p>①素直に楽しかった：9件（36%）</p> <p>②プログラムの活用できる要素を感じ取った：5件（20%）</p> <p>③参加したことで自身に「気づき」があった：11件（44%）</p> <p>&lt;詳細&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素直に楽しめた。面白かった。</li> <li>・子どものころに戻った感じだった。</li> <li>・参加者が真剣かつ楽しく活動しているのが感じられた。</li> <li>・子どもと一緒にやればもっと楽しめることなのだろう。</li> <li>・ゲームが面白く、小学生に向けた環境教育として良い効果が期待できる。</li> <li>・大人でも楽しめたので子どもがどういう反応をするか見てみたい。</li> <li>・大人も子どもと楽しむ・理解する・体験するといった活動を増やせばもっと周知できると感じた。</li> <li>・大人に対しても実施していくべき。</li> <li>・浄水場で子ども相手のイベントを開催したりするが、「教育」という視点が欠けると気づけて良かった。今後は子どもが水の大切さを自ら気づき、体験できるようなイベントを開催していければと思う。</li> </ul>

<p>主な 自由意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの内容が仕事にも活かせると思った。</li> <li>・水、動植物以外の分野でも使えると思った。</li> <li>・内容が受身なものではなく能動的なものなのが良かった。</li> <li>・他のアクティビティも体験してみたい。</li> <li>・WET について今日初めて知った。</li> <li>・WET に興味を持った。調べてみようと思う。</li> <li>・WET の概要からワークの内容まで知れて良かった。</li> <li>・参加者と交流できて楽しかった。</li> <li>・自分の意見をまとめて他人と話し合うスキルをもっと高めようと思うきっかけになった。</li> <li>・自分の考えもリフレクションできた。</li> <li>・多様な考え方・意見に触れることができた。</li> <li>・原点に戻って考えるチャンスがあって良かった。</li> <li>・1 つのことを考える場合において、それぞれの人の視点が異なっていて面白かった。</li> <li>・「みんなのホタル池」における風景の発想はなかったのもとても新鮮だった。</li> <li>・ホタルの気持ちを考えることなんて日頃ないので、良い体験だった。</li> <li>・エドゥケーター、ファシリテーターに関する資料は配布しない？※<sup>2</sup></li> </ul>
--------------------	---

※<sup>2</sup> エドゥケーター、ファシリテーターに関する情報について、その活動報告は基本的にプロジェクト WET ジャパン HP や河川財団広報誌にて掲載されています。

【URL】プロジェクト WET—河川財団

<http://www.kasen.or.jp/wet/tabid121.html>



#### 4. おわりに

私のエドゥケーターデビュー戦は、多くの方のサポートがあり良いスタートを切ることができました。時間配分は若干詰め詰めに設定しましたが、アクティビティには必要な時間を割り、それ以外の場面で調整はできたかなと思います。

また、エドューケーターを実践してみて、改めて発信する側はエネルギーを消費する分だけ学びも多いことを実感しました。つまり、インプットとアウトプットの繰り返しが深い学びに繋がるのだらうと感じました。これからもそういった具合に、企画したり、スキルを磨いたりしていこうと思います。

最後に、今回ご協力いただいたエドューケーター鯖さんはじめ、当日までの間段取りにお力添えいただいた京都大学山敷教授、平野様（当日参加）、黒木様（当日参加）、メタウォーター株式会社藤木様、阿蘇品様、株式会社日水コン南條君、プロジェクトWET 関連広報誌等ご提供いただきました河川財団すがっち様、後押しして下さったメタウォーター純子様、あきら様、そして当日参加者の皆さま（京都大学：浅田様、平野様、孫様、黒木様、京都市上下水道局：横井様、株式会社ナガオカ：渡里様、株式会社神鋼環境ソリューション：阪口様、林様、水ing 株式会社：福部様、株式会社日水コン：田中氏、安達氏、謝氏、毛利氏）に心より感謝いたします。ありがとうございました。またやりますので。

## 5. おまけ

### ◆意見交換会

大人に戻った皆さんと楽しいひと時。日頃の業務や研究、日常や人生等についてシェアをします。今回は、まさに“水”が引き合わせたメンバーで、翻訳家の鯖さんが加わっている状況に感動します。

また、意見交換会まで参加できなかった方もいらっしやるので、今後も継続してこのような場を設けていきたいです。



### ◆みたらし祭

意見交換会后、京都の下鴨神社で毎年7月に行われているお祭りの一つ「みたらし祭」に参加。日中、水環境についてたらふく学んでからの足つけ神事は、水分子の気持ちを知った我々にとってはある意味“親水性”が格別です。

こういったオプションを付けた水環境教育というものもありますね。

